

事務事業チェックシート

事務事業No 716 事業名 小倉勝宝台管理事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		下水道費	
	目		下水道施設管理費	
	大事業		下水道施設管理事業	
事項		小倉勝宝台管理事業(処理施設)		

[長期総合計画]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	3	住環境の整備
施策	4	生活排水対策の推進
基本方針	4	下水道事業・集落排水事業の適正管理

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	永年	～	
事業実施の根拠法令	水質汚濁防止法		
関連個別計画			
担当課・担当課長(Tel)	下水道管理課	堀口真也(435-1096)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か)	事業内容				
	区域内の家庭排水等を浄化し、公共用水域の保全をめざす。	排水処理等を行うため、適正な処理施設の管理を行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		小倉勝宝台地域汚水処理施設の運転管理事業の維持管理	小倉勝宝台地域汚水処理施設の運転管理事業の維持管理	小倉勝宝台地域汚水処理施設の運転管理事業の維持管理	小倉勝宝台地域汚水処理施設の運転管理事業の維持管理	小倉勝宝台地域汚水処理施設の運転管理事業の維持管理

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
		事業費	10,528	10,088	10,831	10,429	10,933	10,404	11,171		11,171
伸び率(%)	-	-	2.9%		0.9%		2.2%		0.0%		
人件費	常勤職員	2,168	2,202	2,202	2,181	2,181	1,854	2,181		2,181	
	非常勤職員	1,406	1,405	1,405	1,310	1,310	1,042	1,310		1,310	
	小計	3,574	3,607	3,607	3,978	3,978	2,896	3,978		3,978	
国庫支出金											
県支出金											
市債											
その他											
一般財源(税等)	10,528	10,088	10,831	10,429	10,933	10,404	11,171		11,171		
所要人数	常勤職員	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.24	0.29		0.29	
	非常勤職員	0.67	0.67	0.67	0.48	0.48	0.48	0.48		0.48	
主な予算内訳		委託料7,635千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	年度目標値	実績値	全体目標達成度	年度別達成度					
処理施設の適正な運転管理	年度目標値	1		1					
	実績値	1		1					
	全体目標達成度	100.0%		100.0%					
放流水の汚濁量(化学的酸素要求量:COD) t/年 (注記、実績値は年度毎流入水量で変わるので記載できない。)	年度目標値	8.2		8.2					
	実績値	0.6		0.57					
	全体目標達成度	100.0%		100.0%					
放流水の汚濁量(窒素) t/年 (注記、実績値は年度毎流入水量で変わるので記載できない。)	年度目標値	10.9		10.9					
	実績値	1.1		0.72					
	全体目標達成度	100.0%		100.0%					

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	
「見直し」 「改善」案	